



第九十号 平成三十年五月十五日(火) 発行

平成二十九年総会開催される

一筆啓上・作左の会総会が、去る四月十五日(日)七十余名の出席者を迎えて市民ホームで開催されました。

総代の廣重敦氏の後任として赤渋三区総代の安部千尋氏が新体制として承認されました。

総会では兵藤会長の挨拶に続き、二十九年度の事業報告及び決算報告がなされ、出席者全員

の承認を得ました。決算報告に続き役員

の改選では、会長には

長年ご尽力いただいた兵藤紀之氏が退任され、山田靖氏が就任し、副会長に市川真人氏、もう一人の副会長に宮地町東総代の安藤誠氏、会計には法性寺二区

ージ運用等が承認されました。来賓として、愛知県議員新海正春様、岡崎市議員木誠様はじめ多数の方にご臨席を賜り祝辞を頂きました。引き続きの講演会では、講師に岡崎市文化財保護審議会委員の奥田敏春氏をお招きし、家康の祖父である「清康公」についてお話いただきました。尚、六月九日(土)には家康の祖父「松平清康」の歴史を探る旅として「作左の会研修旅行」を企画しています。

続いて三十年度の事業計画として、①作左通信の発行(年六回)②作左ゆかりの地視察旅行実施③ふるさと賞の表彰式、作品展の実施④ふれあいウォーク祭りの協賛⑤作左の会ホームページ

講演会の後、松金社教委員長の乾杯の音頭で懇親会が行われ、楽しい時間を過ごすことができました。

一人の副会長に宮地町東総代の安藤誠氏、会計には法性寺二区

祭りの協賛⑤作左の会ホームページ

*講演会内容は作左の会ホームページに掲載してあります



作左の会

検索



奥田敏春氏の講演会風景



挨拶する山田会長